

# 2017年度 学校法人 三幸学園 東京ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 木村香奈子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 柳 順一

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

昨年は職業実践課程として、シラバスの進め方や担当教員の配置など様々工夫を行った。  
授業の進行・習熟度の確認のため2か月に1度の教科会議を実施。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

特になし

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

在校生・保護者の専門学校での学びの特色、特徴や学校教育方針の理解・浸透の強化。  
現場力・実践力・社会人基礎力向上を目的とした学内授業と現場実習の連携強化。

#### ② 今後の改善方策

入学前に開催するスタートアッププログラムにて、生徒・保護者別教育理念・目指す人材育成像・方針への理解を促し、研修プログラムでは職業観を醸成し、明確な目標設定を行います。生徒も保護者も、そして教職員、全員の目につくような場所(校内)にポスター掲示や教職員向けのムービー映像を作成し視覚や聴覚からの浸透を図ります。

施設実習のカリキュラムでは実施後に受け入れ企業と実習生それぞれにアンケートを実施し、学びの検証をすることで業界のニーズを把握し、人材育成に役立てます。

#### ③ 特記事項

入学前オリエンテーションの開催

保護者様へは行事の開催や就職・実習について定期的にアプリ(スタディサプリ)より情報配信、成績表の送付を行っている。

#### ③ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

教育活動の積極的な情報公開

### ② 今後の改善方策

教職員の指導・実務スキル向上の為の研修を充実させる。

学園 HP では入学希望者への内容が主となっているが、業界・企業向けに教育の過程や成果に対する情報公開を積極的に行う。

### ③ 特記事項

学生管理システムによる生徒情報・成績管理を行っており、卒業生データも管理している。

人事・給与規定は就業規則として、雇用形態別に規定があり明確化されている。

学科ごとに教務主任、財務決済のための責任者を学校単位に配置している。

スタディサプリを WEB 活用し情報伝達システム化されている。

教務事務の人員を増員し、適切な管理運営を行っている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

事務体制強化 事務事故防止のため人員を増員しているが、引き続き情報管理の徹底を行ってほしい。アプリを使用し教職員とのコミュニケーション強化を行っている点については工夫を感じられる。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

企業とのつながりを深め、産学連携の強化。

教員の育成・指導の体系化。

新任教員の教務力向上。自分も成長できるクラス運営を行う為に、担任には1)個に対応する対応力 2)集団をまとめる力 3)チーム力のスキルが必要となる。

#### ② 今後の改善方策

企業・業界団体との連携による実践的かつ専門的な職業教育を協議・検討しマンネリ化を防ぎ活性化を促す。サロンワーク授業では企業とのコラボレーションによるインターンシップや学生サロンの開催により現場スキルを身につかせプログラムの充実を引き続き推進していく。

実践的かつ専門的な職業教育を協議・検討することを基本方針とし、カリキュラム委員会では修正・改善を行う。教職員の教務研修やOJT指導者の配置など人材育成にも取り組んでいる。

#### ③ 特記事項

サロンワーク授業を導入し実践的な授業の展開に力を入れている。

美容国家資格取得の為の学科にもコース選択の幅を広げ、任意で取得できる資格を増やし就職先の幅

を広げた。サロン・企業でのインターンシップを全ての学科で実施している。

まつ毛エクステンション認定校としてカリキュラムの充実を図っている。

教員業務スキルアップ研修の実施

教員リーダーシップ研修の実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

高校では NPO 法人の活動を取り入れ、生徒のコミュニケーション能力を高めるために小さな子供をまねき触れ合う授業を行っている。課外活動における学びも大切にしてほしい。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

就職率向上への取り組み。退学防止への取り組み。卒業生のサポートの充実。  
業界・企業度との人材育成・キャリアアップシステムへの理解を深める

##### ② 今後の改善方策

入学前にはスタートアッププログラムを行い、将来のビジョンを明確にし、目指す職業の社会的意義を伝える。  
後期コース選択後にもスタートアッププログラム、卒業生ガイダンス、企業ガイダンスを開催し職業意識を高めていくことを持続させ、退学率、就職率向上を図る。  
企業人事担当者との情報交換の充実により、職業ごとの求めるコンピテンシーを把握する。在校生の成長をデータとして集計するアンケートを実施しているが、その分析によって伸ばすべき能力を把握し指導に活かす。

##### ③ 特記事項

担任指導者の設置

卒業生あての求人をHPで公開

検定前には強化 WEEK の設定を行い、合格保証制度も設けている。

同窓会 Link で卒業生の紹介、講習会の実施を行っている。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### ① 課題

教育給付金の利用希望者が少ない。

健康管理は年に1度の健康診断や季節的な流行伝染病についての注意勧告

### ② 今後の改善方策

学科を超えて参加できる就職ガイダンスを開催し、学生の希望職種の教員が支援できる体制をつくる。遠方からの出身者で提携寮に入居している在校生に対しては、寮母さんとの連携によって生活環境への支援を行う。クラス会議を活用し、関わる多くの教員で情報共有・意見交換することで問題点を把握でき、指導に役立てる。そして、保護者との連携を重視する。生徒の問題を把握し、保護者に連絡し、早期に対応する。

### ③ 特記事項

保護者様閲覧用のアプリの活用、行事の告知、日常の情報を共有し連携した指導を行えるよう環境を整えた。

学費応援制度による奨学金と連携した学費サポートがある。

グループ校である飛鳥未来高等学校へは講師を派遣し授業を行っており、美容の職業教育を行っている。

起業サポートとして、独立希望の卒業生が準備期間として働くことのできる面貸しの美容室を設置している。

卒業生 LINK の活用

卒業生の支援として独立起業支援や研修セミナーサポートを充実させた

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

卒業生支援に関しては起業を目指す美容師の夢になる。告知をもっと広く行い、実績を出してほしい。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

職種によってインターンシップ期間が月単位を希望している企業もありますので、期間や時期を検討していく必要がある。インターンシップ受け入れ先の拡大・希望業種での施設実習ができないケースがある  
実施予定であるインターンシップ制度を充実させるためには業界団体との連携により、優良サロンの選定や、企業の市場調査も行い現代のサロンがどのような設備のもと営業を行っているのかを知り学校側も整備する事も検討するべきだと感じます。

### ② 今後の改善方策

インターンシップ時期・期間の検討・企業サロン理解を深める  
企業訪問・実習巡回の頻度を上げ、タイムリーな状況把握を行う

### ③ 特記事項

インターンシップカリキュラムの実施  
実習先アンケートの実施  
インドネシア政府公認のエステティック資格取得が可能なバリ研修の実施  
ロサンゼルス研修の実施

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし



## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

新設校や少子化問題により募集定員の確保が最も重要項目として掲げたい内容だと思います。  
新しいアイデアや卒業生の活躍、検定や国家資格の合格率など教育効果の実績を上げる事も必要。

### ② 今後の改善方策

教育成果として卒業生の活躍を打ち出す。  
入学希望者の職場【模擬】体験を計画するなど、早い段階で職業理解に努める

### ③ 特記事項

体験入学・校内・会場ガイダンスの実施  
各種イベントの実施  
学納金は募集要項に明確に記載しており、基本的には追加の徴収はない。  
教育訓練給付金制度の紹介

### ③ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

#### 【委員コメント】

・特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

特になし

### ② 今後の改善方策

特になし

### ③ 特記事項

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

積極的な地域貢献活動の実施

### ② 今後の改善方策

今後もサロンワーク授業との連携したボランティア活動実施を継続していく。

WEBにて施設貸出や美容技術で地域貢献活動実施を告知していく。

### ③ 特記事項

ケアセンター・地域イベントからの依頼により、ハンドマッサージやネイルケア・メイク技術の提供などボランティア活動を行っている。

校舎1階にサロンを併設し、地域の利用者へ格安にて施術を提供している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

ボランティア活動は在学中から行うことで、視野が広がり良い経験となる。

美容を通して誰かの為になる活動は貴重な体験。身体に障害を持つ子供とその母親を対象にボランティア活動を行ったが、スタッフの教育として良い結果となった。

在学中から参加することも意義がある。

## (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

### ① 課題

留学生の受け入れ体制の整備

### ② 今後の改善方策

留学生の受け入れ・在学に対する職員理解を深める研修を実施。

留学生向け説明会の実施や担当者の設置。

日本語学校との提携を計る。

### ③ 特記事項

留学生への入試方法として学費の援助を目的とした特待生制度を設けている。

留学生取次者を設置している

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

留学生は文化的な習慣の違いによって、悩みをかかえ学生生活に支障が出るケースが多い。留学生取次者がいることで在留に関するサポートはあるが日々の指導におけるサポートにも力を入れていただきたい。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育内容・育成目標は明確化されており、教職員が一丸となって取り組むしくみとして、教務を体系化しているが、全体への浸透が今後の課題である。

今年度取り組んでいる様々なプロジェクトについては効果検証を行い、軌道修正しながら社会人基礎力の備わった人材の育成を目指す。教務の生徒保護者や地域・社会からの周知徹底、理解を深める為の施策を検討し、企業との更なる連携を強化する必要がある。